

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名 寝屋川市

実践研究校名 寝屋川市立中木田中学校

【公開授業】公開日：平成26年 1月22日

対象学年：第3学年

(教材・教科書名) Sunshine (单元名) My Project 9	(本時の指導の目標) 自分の発表を、聞いている人にわかりやすく伝えるために工夫する。
--	---

(本時の授業において工夫した点)

- ・少人数で、ペア学習やグループ活動を取り入れた授業。
- ・表現の導入や練習にプレゼンテーションソフトを用いた。
- ・自分たちでより良い発表を考える時間を与えた。

(授業後を終えた教員の感想)

- ・発音やイントネーションに注意しながら話すためには、音読やチャットなど、日ごろの授業での発音指導を充実させなければならない。
- ・子どもたちに「分かりやすく伝えるポイント」を考えさせたが、グループごとに評価の規準ができたので、教師の設定している本時の評価規準との齟齬が出てしまい、統一した評価がしづらくなった。
- ・生徒がグループ内で意見を交流しながら、自分たちで活動を進める場面を見てもらうことができたのでよかった。

【研究協議会】

(テーマ) 心豊かで、伝える力のある子どもの育成	(指導・助言者) 関西外国語大学 中嶋 洋一教授
-----------------------------	--------------------------------

(研究協議会で出された意見)

- ・子どもをゆさぶる授業がしたいと思った。
- ・寝屋川市全体でどんな子どもを育てたいか、考えなければならない。
- ・子どもの興味関心を引く授業も大切だが、深みのある授業も必要。
- ・子どもたちの協力する姿を見て、クラスのあるべき姿を再確認した。

(まとめ)

1. 評価規準のぶれない授業づくり。そのための目的意識とゴールからの逆算が大切。
2. 子どもの心を動かす教材作り。教師は常にアンテナを張っていなければならない。
3. 研究授業では子どもの育っている姿を見せなければ意味がない。